三鷹市立第　中学校　令和8年度 【道徳】 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	○ペアーや少人数グループなどの話し合い活動を多く設けることによって、考えを共有することに抵抗がない生徒が増えた。 ◎少人数グループなどの話し合い活動を多く設け、他者の意見を聞き考えを深めたり、多面的・多角的に考えられるような機会を多く設けることができた。 ○三鷹市小・中一貫カリキュラムを活用して系統性を意識して授業を展開を行っている。	【現状】 ○道徳的価値について、自分の考えを考えたり、自分自身のことを振り返ったりして、ワークシートに記入することができる生徒がいる。 ○ローテーションを取り入れたり、他者との対話をしたりして、多様な価値観に触れる事ができている。 【課題】 ○ねらいから外れてしまう生徒や自己の生き方について考えることが苦手な生徒がいる。 ○内容を自分事として考える事が難しい生徒がいる。	○生徒の実態・現状を踏まえて、ねらいとする道徳的価値を理解できるように授業を工夫する。 ○生徒との信頼関係を築き、生徒一人一人が自分の考えや感じ方を表現することができるような雰囲気をつくる。 ○発問を工夫したり、本音を引き出すために多面的・多角的な見方を選択肢を用意したりして、自分事としてとらえられるようにする。 ◎話し合い活動を多く取り入れる事で、多様な感じ方、考え方があることを理解したり、多面的・多角的に自分の考えを深く考えたりする授業を行う。 ○三鷹市小・中一貫カリキュラムを活用し、系統性を意識して授業を計画し、実施する。
第2学年	○生徒が、ねらいとする道徳的価値を理解し、自己を見つめ、多様な感じ方や考え方によって学び合うことができるような授業づくりを行うことができた。 ◎話し合い活動を通じて、他者の意見を聞いたり考えを深めたりする機会を多く設けている。 ○三鷹市小・中一貫カリキュラムを活用して系統的な指導を行っている。	【現状】 ○ローテーションを取り入れて実施しており、多様な価値観に触れる機会にできている。各教員が担当の課題について創意工夫し、現状に合った指導を行っている。 ○道徳教育の目標に基づいて、内容項目をバランスよく年間指導計画の中に入れ、計画的に学習を行うことができている。 【課題】 ○物事を、より多面的・多角的に考えられるような発問の提示を行う。 ○具体例を考えさせ、自分ごととして考えられるような工夫を行う。 ○担任への道徳内容のフィードバックや、授業者同士で、授業の振り返りや情報共有をする機会の設定ができるとよい。 ○ワークシートの返却が遅くなることがある。	◎それぞれの教師の良さを生かし、議論を深める時間を確保したり、問題解決的な学習など多様な方法を取り入れた指導を行ったりする。 ○生徒が、自己を見つめ、多様な感じ方や考え方によって学び合うことを通して、ねらいとする道徳的価値を理解できるように授業を工夫する。 ○年間を通じた変容を見取り、生徒自身も自覚できるように、授業ごとの振り返りに加え、学期ごとにも振り返り、改めて考える機会を設けている。 ○生徒一人一人との関係性を構築することで生徒の実態を理解し、教師一人一人が生徒の道徳性を養う意識をもつ。 ○三鷹市小・中一貫カリキュラムを活用し、系統性を意識して授業を計画し、実施する。
第3学年	○学年や学校行事にそって、教材を取捨選択したり、より効果的な指導順序になるよう、適宜教材を入れかえるなどの工夫を継続して行うことができた。 ◎話し合い活動の充実を図り、様々な角度から考察する授業展開にすることができた。 ○三鷹市小・中一貫カリキュラムを活用し、系統性を意識した授業を展開することができた。	【現状】 ○ローテーション授業を取り入れ、多様な価値観に触れる機会とすることができている。 ○多様な価値観の存在を前提にして、他者と対話し協働しながら取り組むことができる。 【課題】 ○物事を、より多面的・多角的に考えられるような発問の工夫を行う。 ○内容を自分事としてとらえ、よりよく生きるために道徳的実践へつなげる。	◎問題解決的な学習など多様な方法を取り入れた指導を行う手立てとして、グループワークなどの話し合いの場をより多く設ける。 ○学年の発達段階を考慮して、年間を見通した計画的・発展的な指導が行えるように工夫する。 ○生徒との信頼関係を築き、生徒一人一人が自分の感じ方や考え方を伸び伸びと表現することができる雰囲気を創り出す。 ○三鷹市小・中一貫カリキュラムを活用し、系統性を意識して重点を明確にした授業づくりを継続して行う。